

[花き部門]

2. 電照加温促成作型に適したおかやまオリジナルラクスパー優良系統の選抜

[要約]

2～3月出荷電照加温促成作型に適したおかやまオリジナルラクスパー優良系統として、ブルー2系統、ホワイト1系統、ピンク3系統、ローズ3系統、ライラック3系統を選抜した。

[担当] 野菜・花研究室

[連絡先] 電話 086-955-0277

[分類] 技術

[背景・ねらい]

ラクスパーの2～3月出荷電照加温促成作型において、市販品種は到花日数が長くて切り花が長大になるとともに花色の発色が劣り、形質のばらつきが大きいことから栽培の支障となっている。そこで、市販品種を選抜し、早期開花で揃いがよく、花色の発色の良なおかやまスタンダードラクスパー優良系統を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 2004～2007年にかけて優良系統の選抜と採種を繰り返した。栽培は10月播種の電照加温促成作型で、深夜4時間の電照を行い、定植から抽台までは15℃、抽台直後に摘心した後は10℃で管理した。栽植密度は10cm×30cmの2条植えで、株当たり5本仕立てとした。
2. 選抜目標は、①早期開花で長大にならない、②花色の発色良好、③開花・切り花形質が揃う、の他に、④小花が多くて間隔が詰まる、⑤小花が大輪丸弁で花弁多い、⑥側枝が立つ、⑦全体バランス（達観）良好、⑧特徴的な花色、などとした。
3. 2006年度から場内選抜と並行して井笠農業普及指導センター管内農家で現地試作を行い、その結果を選抜評価の参考とした。
4. 2007年度作においてブルー系2系統、ホワイト系1系統、ピンク系3系統、ローズ系3系統、ライラック系3系統を選抜し、2009年に育成系統としてジーンバンクに登録している（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 選抜系統は県南部地帯の2～3月出荷電照加温促成作型に適する。
2. 発蕾後は花色の発色を促すために加温温度を10℃以上に保つ。
3. 栽培は県内農家に限り、栽培を希望する場合は「ジーンバンク事業で保存する種苗の保存・譲与に関する事務処理要領（平成20年1月25日施行）」に拠る。

[具体的データ]

表1 2～3月出荷促成作型に適した育成系統の特徴

系統	花色	開花 早晩	切花 長	花穂 長	小花 数	小花 径	開花 揃い	発芽 率	形質 ^z 揃い	その他特徴	総合 ^y 評価
ブルー系統											
B 4 B	濃青	早生	長	中	中	大輪	やや良	良	△	花卉乱れ、形質や不揃い	◎
B 7 A	青二色	やや晩	長	やや長	中	大輪	やや良	中	○	青ライラックの二色咲き、揃い良	◎
初作系統											
W 1 A	緑白	やや晩	長	やや長	中	大輪	やや良	劣	○	花卉乱れ少、萼色抜け不良	○
ピンク系統											
P 1 A	淡ピンク	早生	やや短	中	中	大輪	良	中	○	花卉多	○
P 1 C	淡ピンク	早生	やや短	中	中	大輪	やや良	良	△	花卉多、現地高評価	◎
P 8 E	ピンク	早生	中	中	中	大輪	良	中	○	側枝立つ	○
ローズ系統											
R 6 B	淡ローズ	早生	長	長	やや少	大輪	良	良	○	濃淡株あり、丸弁、小花密	◎
R 14 A	濃ローズ	早生	長	中	多	大輪	やや良	良	△	株内立茎揃い良	◎
R 22 A	ローズ	やや晩	やや短	やや短	多	中輪	不良	良	○	白線あり、花卉乱れ	○
ライラック系統											
L 12 E	淡紫	早生	中	中	やや少	中輪	やや良	良	△	蕾着色、茎堅い、花色不揃い	○
L 14 A	赤紫	早生	やや短	やや長	中	中輪	良	良	○	萼先色抜け不良	○
L 23 A	紫二色	早生	中	中	中	中輪	やや良	良	○	濃淡二色咲き、中小輪	◎

^z○：良、△：中

^y◎：有望、○：やや有望



B 4 B



P 1 C



R 6 B



L 23 A

図1 主な育成系統

[その他]

研究課題名：おokayamaスタンダードラークスパーの育成とプライミングを利用した育苗技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2005～2007年度

研究担当者：土居典秀、森 義雄